

2007年5月

滋養豊富 風味絶佳

黄色い箱の「森永ミルクキャラメル」は、世代をつなぐ絆！

「日本の人たちにもっと栄養のある、おいしいお菓子を」という願いを込めてスタートした森永製菓。明治、大正、昭和、そして平成と、変わらないおいしさで4つの時代の移り変わりを見守ってきた「黄色い箱の森永ミルクキャラメル」。6月10日ミルクキャラメルの日を迎えるにあたり、歴史を振り返りながら、今後の当社のキャラメルの取組み・展望をご紹介します。



【森永ミルクキャラメルの誕生】

1899(明治32)年6月に、森永製菓の創業者、森永太一郎が約11年の間、アメリカで大変苦勞をしながら「西洋菓子の製法」を習得して、35歳の時帰国しました。そして、その年の8月に、東京赤坂に西洋菓子製造所を創設しました。

その創業当初からキャラメルの製造をしていましたが、当時のキャラメルは、横浜に住んでいる外国人や、福沢諭吉など海外からの帰国者たちの注文で少量製造するくらいでした。なかなか当時の日本人の嗜好には合わず、その後キャラメルがヒット商品になっていくまでには、いろいろな苦勞がありました。

当時のキャラメルはアメリカの仕込みだったので、バターやミルクが大量に使用され、乳製品の風味が強く日本人にはなじみがうすいものだったので、なかなか受け入れられなかったのです。また、湿度の高い日本の気候では保存性にも問題がありました。

そこで、柑橘系の香りを利かせるなどミルクの強い味を改良し、煮詰め温度を工夫するなど溶けにくい品質に改良したり、衛生面にも配慮してワックスペーパーに包んでブリキ缶に入れるなど、改良を重ねました。

大正時代に入り、ようやく乳製品の栄養価値が注目され、バターやミルクが愛好されはじめたことから、原料の乳製品の配合を増やし、1913(大正2)年「キャラメル」に「ミルク」の冠詞をつけ「ミルクキャラメル」として発売しました。翌年の1914(大正3)年に、ポケット用・紙サック入りのキャラメルを開発し、東京・上野公園で開催された大正博覧会の特設売場で販売したことが、大ヒットしたきっかけでした。紙サック入りで携帯しやすく、保存性や品質も向上し、手に入れやすい価格になったことで、「森永ミルクキャラメル」は爆発的にヒットしたのです。

このようにして、黄色い箱に入った「森永ミルクキャラメル」が誕生したのです。

【6月10日はミルクキャラメルの日】

1913(大正2)年6月10日、「キャラメル」に“ミルク”の冠詞をつけ「ミルクキャラメル」を発売。その年の8月に新聞広告を掲載、日本中に「ミルクキャラメル」という名が知れわたりました。

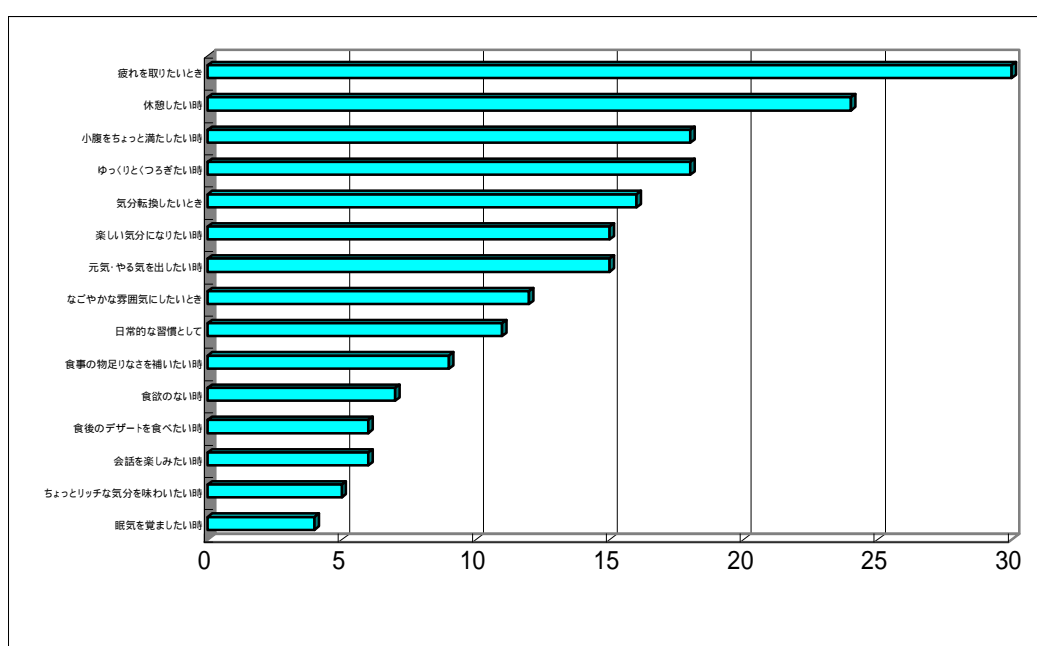
時代は変わって21世紀を目前にした2000年6月、20世紀を代表する商品として、また、国民的財産として認知された「森永ミルクキャラメル」を次世代につなげていくために、「日本記念日協会」に6月10日を「ミルクキャラメルの日」として正式に登録し、認定されました。

【キャラメル調査】

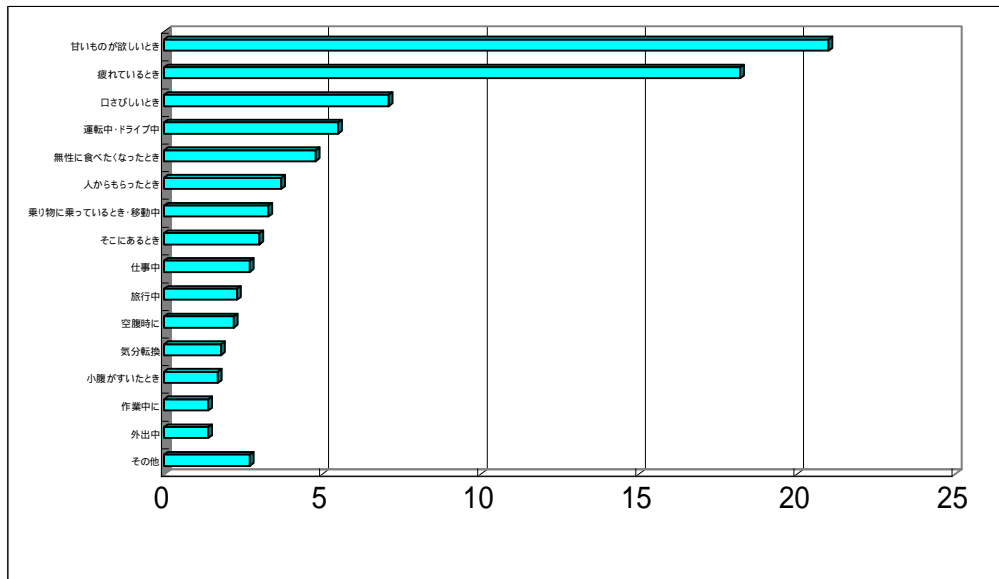
当社の調査では、キャラメルを食べたい時の気分は「疲れを取りたい時」「休憩したい時」「甘いものを食べたい時」という結果が出ています。

「森永ミルクキャラメル」では、こうしたお客様のニーズに対応し、「ウォーキング」「旅行」「ちょっとしたお出かけ」の際の、友人や夫婦のコミュニケーションツールとしてのマーケティング活動を実施してまいります。

キャラメルを食べる場面(当社調べ(06.8、インターネット、全国1200人))



キャラメルを食べる時の気分(当社調べ(06.6、インターネット、全国 600 人))



【森永キャラメル108年の歩み】

1899(明治32)年…東京市赤坂溜池町に森永西洋菓子製造所を創業。創業と同時に「キャラメル」の製造開始。

1913(大正 3)年…「ミルクキャラメル」発売。バラ売り。

1914(大正 2)年…はじめて黄色い紙サック入りの「森永ミルクキャラメル」発売。

1953(昭和28)年…銀座のシンボル、地球儀型のネオン塔。

1999(平成11)年…20世紀デザイン切手のデザインに選ばれる。

2000(平成12)年…「6月10日はミルクキャラメルの日」を制定。大正2年6月10日の新聞広告の商品名表示から命名。

【現在の森永キャラメルシリーズ】

「ミルクキャラメル」	「黒糖キャラメル」	「抹茶キャラメル」	「黒ごまキャラメル」
			
・参考価格 105 円 (税込) ・1914 年発売 ・日本初の紙サック入り キャラメル	・参考価格 105 円 (税込) ・2003 年発売 ・沖縄産黒糖使用	・参考価格 105 円 (税込) ・2005 年発売 ・宇治抹茶 100% 使用	・参考価格 105 円 (税込) ・2007 年発売 ・風味豊かな黒ごま味

【森永キャラメルの展開】

当社では現在、ミルクキャラメルの日（6月10日）に向けてセール展開中。また、和菓子世代の方が店頭でキャラメルを見つけやすいように、和菓子コーナーや日本茶売り場にキャラメル売り場を拡大中です。

主要購買層である団塊の世代に向けて「50～60代の男女のちょっとした口寂しさや疲労感を癒す」ことをコンセプトとして、主要購買層が関心のある健康素材や和の素材を使ったもの「黒糖」「抹茶」「黒ごま」「あずき」「栗」等を、サブフレーバーとして昨年よりシリーズ展開しています。

【ミルクキャラメルのホームページ】

当社では、現在6月10日のミルクキャラメルの日に向けて、当社ミルクキャラメルWEBサイトにおいて「ミルクキャラメルのエピソード」を募集しています。（6/4から募集予定）

<http://www.morinaga.co.jp/caramel>

更に、引き続きウォーキングをテーマとしたユーザー参加型企画も予定しております。

日本で最初に作られたキャラメルが100年以上もの間、たくさんの方々に愛され続けてきました。人々のライフスタイルは変化しても、これからも変わらぬ味で時代とともに歩んでゆくキャラメル。みなさんもちょっとお出かけをする時、散歩をする時、ウォーキングのお供にキャラメルをバッグに入れてお出かけ下さい。大切な人と楽しいコミュニケーションができるはずです。これからも、「森永ミルクキャラメル」をどうぞ宜しくお願い致します。

<お客様お問合せ先> 森永製菓株式会社 お客様相談室 TEL:0120-560-162